

都市経営の基本戦略取組状況

手 法	手法実施内容	事業名	課室名	
第3節 区民に身近な行政区の運営				
アプローチ9				
行政区の機能充実				
<p>区役所機能の充実を図り、行政区の特色を生かしたまちづくりを進めます。 区民に身近という特性を生かし、行政区レベルで市民との協働を進めます。</p>	<p>・区まちづくり予算の有効活用</p>	<p>予算の有効活用が出来るように区まちづくり予算の内容の充実や予算執行を支援しました。</p>		<p>市民局 区政課</p>
	<p>「区の特色ある取り組み」</p>			
	<p>区民と協働のまちづくり推進のため、区民会議が実施する事業等、区民会議の意見を予算に反映させました。</p>	<p>西区</p>		
	<p>まちづくり事業予算内において、コミュニティ課の事業から生活課の土木施設修繕など、弾力的運用を行ないました。区役所内でプロジェクトチームを組織し掲載項目、内容についての検討を行い、まちづくり事業予算を活用して北区区政方針を発行しました。</p>	<p>北区</p>		
	<p>区民会議によるボランティア活動団体への補助金制度(チャレンジ提案事業)を創設しました。</p>			
	<p>区民会議の意見を予算に反映し、子育てマップの発行、ふるさとづくり事業、区民フォーラム開催などの事業を実施しました。</p>	<p>大宮区</p>		
	<p>ふれあいフェア、文化まつりなどを実施しました。また、地域ボランティアの育成、地域での防犯の取組を支援したほか、区報やガイドマップなどさまざまな媒体により情報提供を行いました。</p>	<p>見沼区</p>		
	<p>区民会議活動支援・区民会議広報紙作成配布、区民まつり、コミュニティ会議推進協議会、区ガイドマップ作成、区まちづくり事業支援、防犯啓発等中央区の特色あるまちづくりに活用しました。</p>	<p>中央区</p>		
	<p>自主事業を多数実施し、区民が参加できる場を提供しました。</p>	<p>桜区</p>		
	<p>区まちづくり事業予算内において、土木緊急修繕への弾力的な運用を行うほか、区民会議の意見を予算に反映させました。</p>	<p>浦和区</p>		
	<p>南区まちづくり大学の立ち上げ、南区ふるさとフェアの実施など、区の特色あるまちづくりのために予算を有効活用しました。</p>	<p>南区</p>		
	<p>緑区の歴史的資源を活用した「見沼たんぼ散策事業」「かかしランド事業」及び子育てを語り合う交流の場としての「子育てサロン」の開設等を行ないました。</p>	<p>緑区</p>		
	<p>区民会議活動支援を主に、区民会議広報紙作成配布、岩槻区民やまがきまつり、コミュニティ会議連絡会、歴史資産を生かした区ガイドマップ作成、区まちづくり事業支援、区内小学1～3年生対象に防犯啓発資料を配布する等、特色あるまちづくりに活用しました。</p>	<p>岩槻区</p>		

都市経営の基本戦略取組状況

・区役所の権限の拡大	本庁と区役所の「基本的な事務配分」を再確認するとともに、全庁的視点から課題を整理し、その検討結果を踏まえ区長等に必要な権限の内容について精査を行います。平成17年度は、短期的・中長期的な区分により取り組むべき課題を整理するとともに継続した検証体制を構築しました。		総務局 改革推進室
	区役所の権限の拡大に向け、「区のあり方」について検証するため、区長から個別に意見を聴取するとともに、区長会議において市長と区長の意見交換を実施しました。		市民局 区政課
・区民会議の充実	各区区民会議の代表が一堂に会し、報告書を直接市長に提出及び報告する「区民会議活動報告会」を開催しました。また、区民会議からの提案等に対する説明会を関係所管職員同席のもと、6区において開催しました。		政策局 コミュニティ課
	「区の特徴ある取り組み」		
	基本部会(3部会)、アクション部会(3部会)、広報部会を設置し、また部会と全体会議の間に区民会議の運営全体に関わる課題等に対応するため検討会議を設けました。	西区	
	2つの部会が結成され、「安心・安全まちづくり大会」の開催など活発な活動を展開しました。	北区	
	仲間づくりと宝探し部会、子育て・居場所づくり部会、駅周辺のまちづくり部会、情報・仕組みづくり部会の4部会が立ち上がり、それぞれ活発な話し合いや専門家による勉強会、まち歩きなどを実施しました。全体会を10回、4部会を計33回開催しました。	大宮区	
	諸課題についての協議のほか、区民会議のPRのための区民会議だよりの発行やブログのホームページによる情報提供なども行いました。また、区民会議が実施するイベントへの参加機会を提供し、区民の交流を図りました。	見沼区	
	第2期の区民会議の部会は、最初から第1期の部会の議論・検討を踏まえて始めることが出来ました。区民まつりで各部会のブースの設置、また、部会による現地視察・事例視察を行いました。また、区民会議広報紙を全戸に2回配布しました。	中央区	
	委員の公募枠を増やし、全体数を20名から24名としました。また、区民4000人(20歳以上男女)を対象に区民意識調査を実施しました。	桜区	
	区民会議全体会を8回、企画・運営・広報部会の3部会を29回開催し、明確な役割分担のもと、効率的な運営を行いました。また、区民会議広報紙の発行やコミュニティ会議との交流会を実施しました。	浦和区	
	区民会議独自のホームページを開設するなど広報機能を充実させました。	南区	
	全体会7回のほか、安全・安心部会2回、自然環境部会4回、コミュニケーション部会3回を開催し、テーマごとに活動を行ないました。	緑区	
まちづくり部会、コミュニティ部会、広報部会の3部会を設置し、部会を18回、区民会議全体会を10回開催しました。区民会議広報紙「まちづくりの芽」創刊号を4月に発行し、パネルディスカッション「安心・安全のまちづくり」を3月に開催しました。	岩槻区		

都市経営の基本戦略取組状況

・コミュニティ会議の自主的な活動の支援	「区の特徴ある取り組み」		
	コミュニティ会議が実施する事業に対し、まちづくり推進事業補助金を交付しました。	西区、大宮区、見沼区、南区	
	年4回発行の区民会議通信「ほくほく広場」で活動状況を紹介しました。	北区	
	コミュニティ会議76団体が加入しているコミュニティ会議推進協議会に補助金を交付しました。	中央区	
	コミュニティ会議の活動に対し、物資の提供及び職員の参加を実施しました。	桜区	
	コミュニティ会議が実施する事業に対して補助金を交付するほか、広報紙への活動紹介や活動団体同士の情報交換・ネットワーク構築に向けた交流会を実施しました。	浦和区	
	各種のまちづくり推進活動を行うコミュニティ会議7団体に対し、補助金を交付しました。	緑区	
	区役所の多目的室の利用促進や市報区版に3団体の活動記事を掲載しました。また、コミュニティ会議登録団体情報交換会を12月に開催しました。	岩槻区	